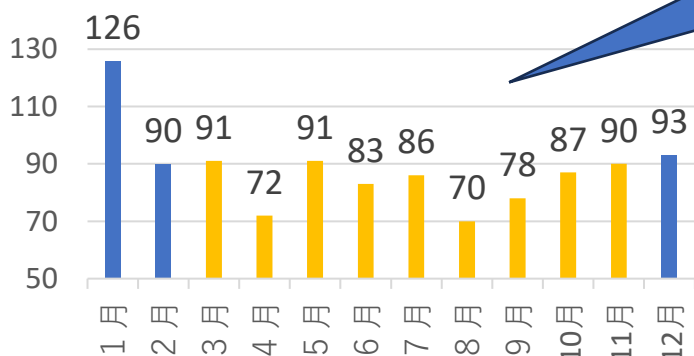


積雪や凍結による転倒災害を予防しましょう！

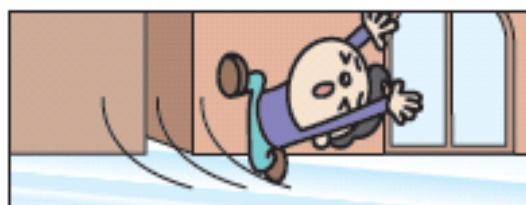
冬季は積雪や路面の凍結などにより転倒災害が多く発生する傾向があります。

早めに必要な対策を講じることで、冬季の転倒災害防止に努めてください。

令和2～6年の5年間に発生した大津署管内の月別転倒災害件数（休業4日以上）



冬季、特に1月は転倒災害が多く発生する傾向にあります。



冬季における転倒災害防止対策

天気予報に気を配る

寒波が予想される場合等には、労働者に周知し早めに対策をとりましょう。

時間に余裕をもって歩行、作業を行う

悪天候による交通機関の遅れが見込まれる場合は時間に余裕をもって出勤するなど、落ち着いて行動や作業ができるように心掛けましょう。

駐車場の除雪・融雪は万全に、出入口などにも注意する

駐車場内や駐車場から職場までの通路の除雪や融雪剤の散布を行いましょう。また、出入口には転倒防止用マットを敷き、照明設備を設けて夜間の照度を確保しましょう。

職場の危険マップ、適切な履物、歩行方法等の教育を行う

職場内で労働者が転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、危険マップなどにより労働者に伝えるようにしましょう。また、作業に適した履物選びや、雪道や凍った路面上での歩き方を教育しましょう。

冬季の通勤・外出時の転倒対策も講じましょう

冬季は通勤・外出時の転倒も多発しておりますので、労働者に転倒を予防するための指導を実施してください。

転びやすい場所の歩行に注意しましょう

①建物の出入口付近

雪道を歩いた後に建物内に入る場合など、靴の裏についた雪や氷、水で滑ることがあります。特にタイルなどのつるつるした床面の場合は要注意です。

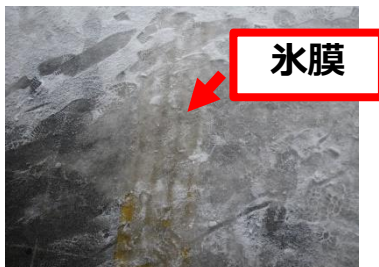
事業場内にそういった場所がある場合は、マットなどを敷いて、靴の裏の雪などを落として入ってもらうようにしましょう。



②マンホール・蓋などの上

マンホールや排水溝の蓋などの金属の上は、形状にもよりますが、つるつるしており、よく滑ります。

特に左の写真のようにうっすら雪が積もっているところに、気づかずに同じ歩調で足をのせると、途端に滑ることがありますので要注意です。



③視覚障害者誘導用ブロックや横断歩道の白線の上

普通の舗装部分に比べ、水が染み込まないため、薄い氷膜ができやすく滑ることがあります。



④雪が踏み固められた場所

雪が踏み固められた場所は、特に滑りやすくなります。

- ・道路の車の轍
- ・駐車場
- ・入出荷場所
- ・バス等の乗降場所・・・など

駐車場に車を停めて降りる際の第一歩にも注意して下さい。



転びにくい歩き方、適正な靴の選択をしましょう

①滑りにくい靴の選択

・ピン・金具付きの底

先の尖った金属のピンや金具が靴底に取り付いており、かたい氷を強くひっかき突き刺します。



・軟らかいゴム底

軟らかいゴム底を使った靴底は、路面に対する接着力が強いいため、滑りにくくなっています。



・深い溝のある靴底

深い溝のある靴底は、路面に対するグリップ力が強く滑りにくくなっています。靴底が軟らかいものを選ぶとなお効果的です。



・滑り止め材入りゴム底

滑り止め材が加工されている靴底は「やすり」のように路面の表面をひっかくため滑りにくくなっています。



②小さな歩幅でゆっくりと歩きましょう

③ながら歩きやポケットに手を入れたままの歩行は避けましょう

